

第9回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

令和7年度アクションプラン取組状況報告
連携・協働アクションプラン

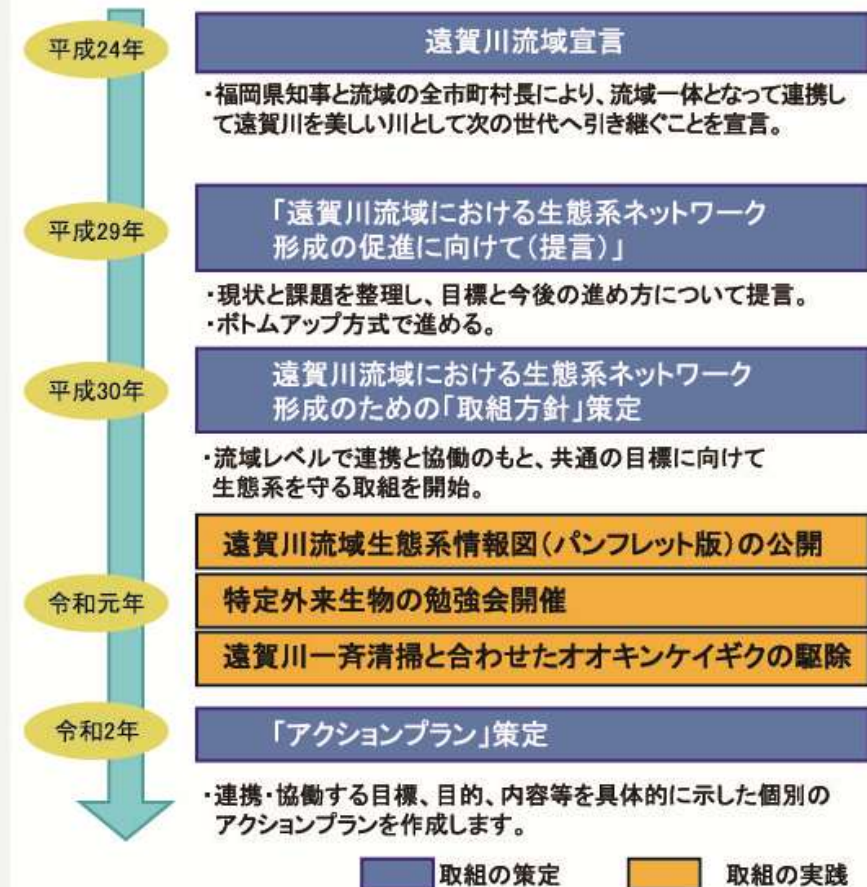
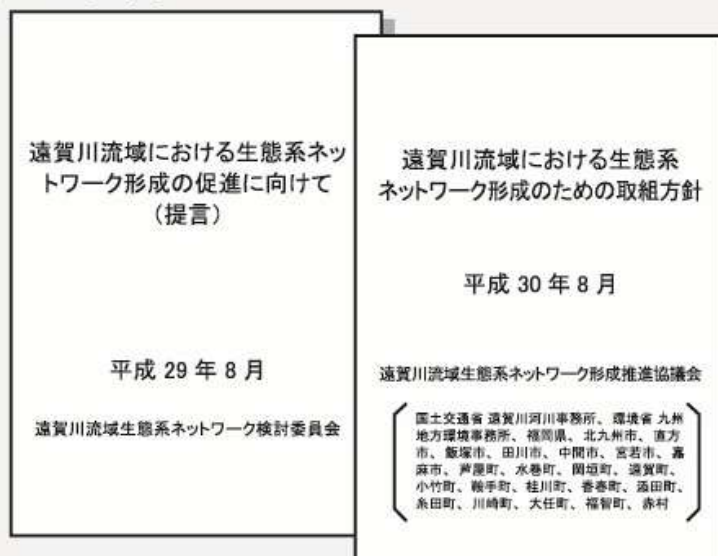
令和 8年 7月 24日

はじめに:これまでの経緯

遠賀川流域生態系ネットワーク形成に向けた取組の経緯

平成 24 年の「遠賀川流域宣言」を受けて、遠賀川を基軸とした生態系ネットワーク形成の促進を図っていく上で、進むべき方向を示すため、各分野の専門家からなる検討委員会を設置し、「提言」をとりまとめました。

この「提言」を踏まえて実践していくため、関係機関（国、福岡県、流域市町村）をメンバーとした作業部会、推進協議会で議論・策定した「取組方針」のもと目標を共有しながら、流域全体で連携・協働し、流域へ展開できる具体的な取組を実践しています。



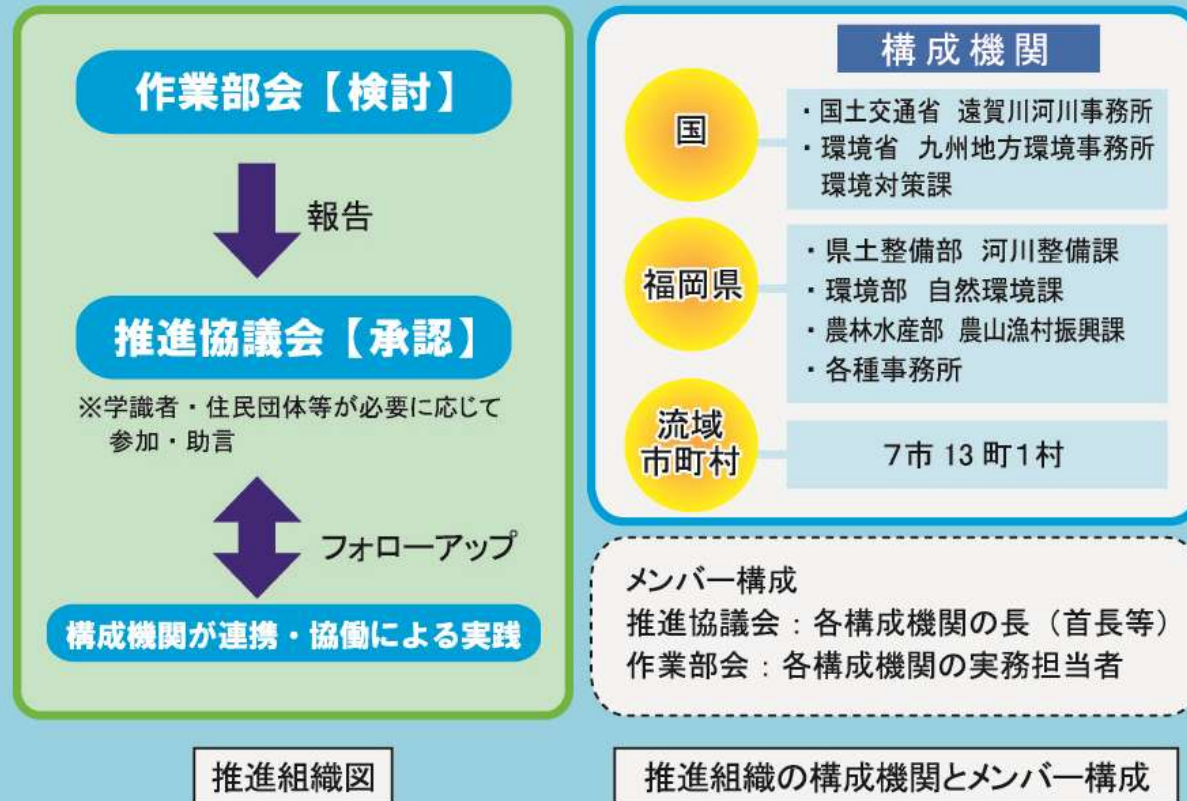
※連携・協働アクションプランの具体的な取組は、進捗に応じて適宜見直す。

はじめに:組織

流域生態系ネットワーク形成の推進組織

流域が一体となって生態系ネットワーク形成を促進するため、国土交通省、環境省、福岡県、流域内の7市13町1村からなる「遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会」を設立しています。

また、その実践組織として作業部会を開催しています。



推進協議会



作業部会

	作業部会	遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会
令和8年度	R8.7.9 第13回 作業部会 ・アクションプラン取組状況 ・連携・協働アクションプランの具体的取組	R8.7.24 第9回 協議会 ・アクションプラン取組状況報告 ・連携・協働アクションプランの具体的取組の審議
今回		

はじめに: 遠賀川流域生態系ネットワーク形成により期待される効果

○生物多様性の向上

森林・里山・河川・湿地・海岸環境の場の改善により生物多様性が向上し、災害リスクの低減、動植物の生息・生育環境改善、自然環境の利活用(バードウォッチ、昆虫採集、釣り人、レジャー等)の増加が期待される。

○経済活性化

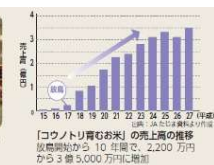
環境にやさしい農作物(減農薬、無農薬)、農地・漁場改善等により農産物・水産物ブランド化、農家の所得増が期待される。



エコ農産物
認証制度



夢れんげ
減農薬栽培米



事例: 円山川コウノトリブランドと売上高推移



植樹



魚道公園



コウノトリの飛来



湿地保全



水辺の体験活動



観光



海浜レジャー
(芦屋町観光協会HP)



エコツーリズム

○地域活性化

自然体験、環境学習を通じて学校や企業などの水辺利用が活発化、自然への愛着醸成、自立心、社会貢献、郷土愛を通じて地域住民の豊かな人格形成が期待される。



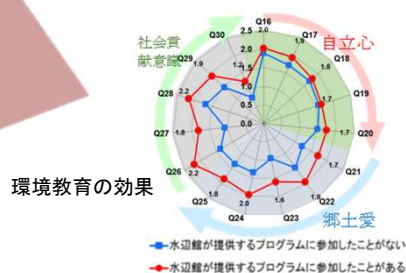
環境学習



環境学習(小竹北小)



遠賀川魚道公園環境学習



はじめに: 遠賀川流域生態系ネットワーク形成の取組 (概要)

■生態系ネットワークの目標

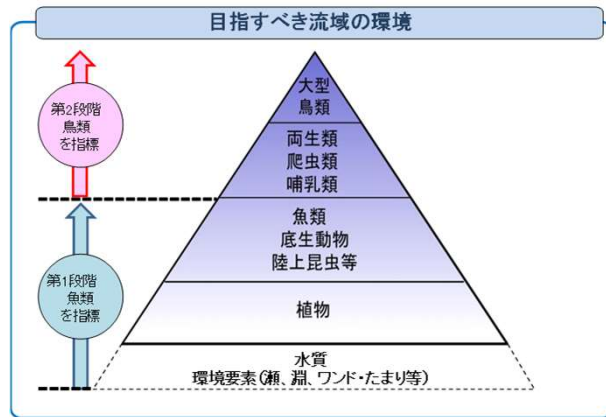
- 石炭産業が盛んになる明治期以前の自然環境に近づける。
- 実現した自然環境と歴史・文化的資源を有機的につなげ、地域や住民の豊かな生活を実現する。

■生態系ネットワークの進め方

- 生態系ピラミッドの下位の生物から整えていく「ボトムアップ方式」により展開を図る。
- ポテンシャルの高いホットスポット等の拠点を回廊でつなぎ、点から線、線から面への展開を図る。
- 得られた豊かな自然を、歴史・文化的資源と有機的につなげて地域づくりへの展開を図る。

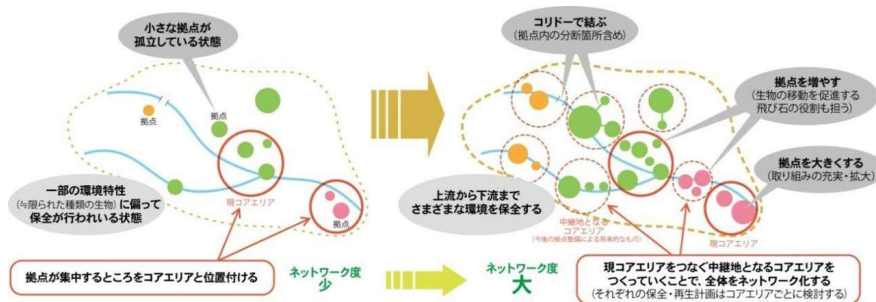
■ボトムアップ方式

水質→植物→動物(魚類、大型鳥類)



■展開イメージ

点(ホットスポット)を増やす→線→面



■アクションプランの取組内容

14の個別アクションプランがある

アクションプランの取組内容			
NO	取組内容	NO	取組内容
①	河口域干潟の保全・再生	⑧	里地・里山における水辺のネットワーク形成
②	河川の縦断的連続性の保全・再生	⑨	流域の環境を守る人材の育成
③	河川とその周辺の横断的連続性の再生	⑩	豊かな自然と歴史・文化的資源を活かした地域振興
④	河川における湿地環境の保全・再生	⑪	流域における多様な主体の連携
⑤	外来生物の駆除等	⑫	生態系に関する情報共有★
⑥	人の営みと自然が調和した農地環境の保全・再生	⑬	生態系に関する情報発信★
⑦	人の営みと自然が調和した森林環境の保全・再生	⑭	生態系に関する普及啓発活動★

■連携・協働アクションプランの具体的取組

○外来生物対策

- ・スキムリングガイを対象生物とし、今後、勉強会等を実施、駆除、利活用等を検討



○自然環境

- ・既存のフットパスと動植物散策マップを組合わせる



○社会環境

- ・取組の情報発信・共有
- ・既存のイベントを活用して普及啓発



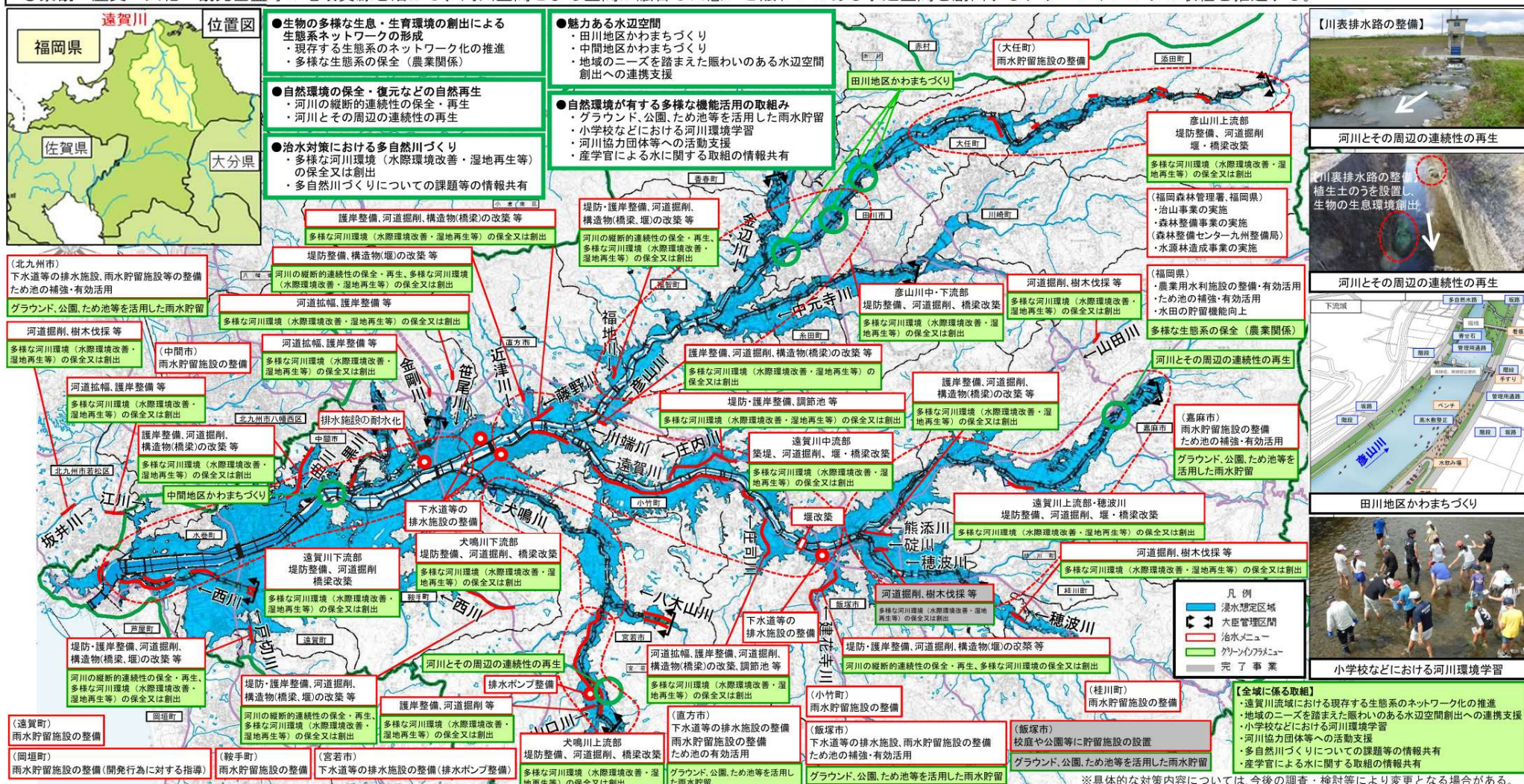
はじめに：遠賀川水系流域治水プロジェクトにおけるグリーンインフラメニュー

遠賀川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～観測史上最高水位を観測した平成30年洪水及び気候変動に対応した流域21市町村一体となった防災・減災対策～

■グリーンインフラの取り組み 『石炭産業で栄えた遠賀川流域の自然再生と観光振興・地域活性化の推進』

- 遠賀川流域では、石炭採掘に伴う鉱害復旧事業や高度経済成長期に急速に進められた河川改修等の影響により河川の自然環境は失われてきましたが、近年の多自然川づくりの取組等により、遠賀川の河川環境（瀬・淵、砂州、ワンド・たまり、ヨシ原等）は回復しつつある。
- 遠賀川流域においては、適度な人為的影響の下で多様な生物が生息・生育し複雑な種間関係が存在していたと考えられる明治期以前の自然環境に近づけるため、河川とその周辺の連続性の再生をはじめ、現存する生態系をネットワーク化するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。
- 景観・歴史・文化・観光基盤等の地域資源を活かし、河川空間とまち空間が融合した憩いと賑わいのある水辺空間を創出するグリーンインフラの取組を推進する。



はじめに: 取組事例 河川の縦横断的連続性の保全・再生

○ 国・県・流域内市町村等が一体となって、遠賀川を基軸とした生態系ネットワークの取組を実施中。

取組 1 : 河川の縦断的連続性の保全・再生



遠賀川河口堰の多自然魚道



金生地区の床固工落差解消

取組 2 : 河川とその周辺の横断的連続性の再生 エコロジカルネットワーク再生事業



御徳地区



目尾地区



下境地区



下境地区（排水樋管改良）



上西郷地区



金生地区

はじめに: 取組事例 中島地区自然再生事業

取組 3 : 河川における湿地環境の再生



中島地区の自然再生事業
ヨシ原の維持・再生（中島地区）



維持管理・利活用

(1)アクションプラン:テーマの位置づけ

■アクションプランとテーマの位置づけ

○ オオキンケイギク駆除、エコサークルおんががわ等、構成メンバーにとらわれず、流域エリア全体での取組が浸透しつつあることから、連携・協働の取組をより効率的・効果的に推進するため、各テーマについては作業部会全体で取組を進めていく。

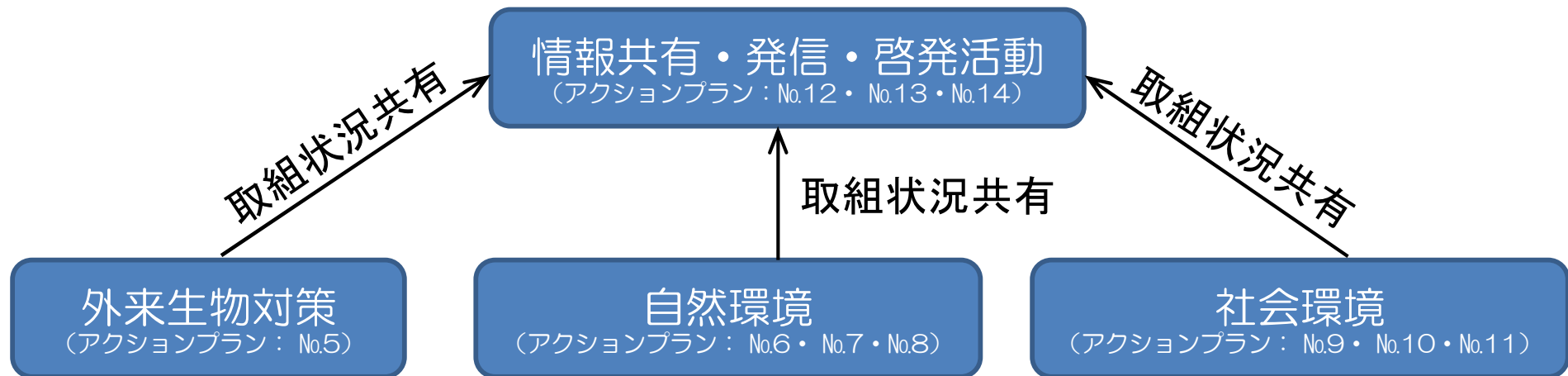
※「情報共有・発信・啓発活動」:生態系に関する情報共有・情報発信・啓発活動

※「外来生物対策」:外来生物の駆除に資する取組

※「自然環境」:農地環境・森林環境の保全、里地・里山の水辺ネットワーク形成に資する取組

※「社会環境」:人材育成、自然・歴史・文化的資源を活かした地域振興、多様な主体の連携を構築する

作業部会



※アクションプランNo.1、No.2、No.3、No.4については、河川内の取組のため遠賀川河川事務所、福岡県県土整備部が主体で取組む

(2) R7年度のアクションプラン取組状況

○ 令和7年度の各関係機関のアクションプラン取組状況は以下のとおり。
取組状況の詳細については、別紙に示す。

NO	アクションプラン項目	取組み実施状況	取組機関	別紙資料
1	河口域干潟の保全・再生	・河川水辺の国勢調査（河川環境基図）を実施	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.2
		・ウミガメ生態（産卵）調査を実施	岡垣町	P.2
2	河川の縦断的連続性の保全・再生	・小学生を対象とした環境学習（生物・水質調査）を実施	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.2
		・近津川において堰の魚道を新設	福岡県直方県土整備事務所	P.3
		・猪位金川（田川市）において魚道整備を実施	福岡県田川県土整備事務所	P.3
		・遠賀川（直方市）において一斉清掃を実施	直方市	P.3
3	河川とその周辺の横断的連続性の再生	・漆生地区、目尾地区住民WGを開催	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.4
		・漆生地区住民WGに向けた関係機関との協議を実施	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.4
		・リモコン式草刈り機の貸し出しに向けた事前説明会を開催	福岡県 飯塚県土整備事務所	P.4
		・堀川いっせい清掃を実施	北九州市	P.5
		・曲川の遊歩道清掃及び草刈りを実施	中間市	P.5
		・穴目排水樋管周辺整備の打合せ	嘉麻市	P.6
		・金辺川流域において清掃活動の支援	香春町	P.6
		・町内一斉清掃を実施(年2回)	川崎町	P.7
4	河川における湿地環境の保全・再生 (多自然川づくり)	・中島の火入れを実施	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.8
		・中島の火入れ実施の事前周知、消防関係等による協力体制を構築	中間市	P.8
		・西川において滞筋の創出を実施	福岡県直方県土整備事務所	P.9
		・ホタルの採取 今後産卵・孵化幼虫の飼育・幼虫の放流を予定	北九州市	P.9
		・矢矧川においてホタルが飛来する河川の草刈、清掃活動を実施	岡垣町	P.9
		・金辺川流域において清掃活動の支援	香春町	P.9

(2) R7年度のアクションプラン取組状況

NO	アクションプラン項目	取り組み実施状況	取組機関	別紙資料
5	外来生物の駆除等	・ オオキンケイギクの駆除	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.10
		・ スクミリンゴガイの駆除	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.10
		・ 外来生物勉強会の実施	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.11
		・ 特定外来生物（植物）について県HPに公開	福岡県 環境部 自然環境課	P.11
		・ 外来種防除リーフレットをHPに公開	福岡県 環境部 自然環境課	P.12
		・ 防除実施計画(R6.3)に基づきアライグマの防除を実施	福岡県 環境部 自然環境課	P.12
		・ オオキンケイギクの駆除	福岡県 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	P.12
		・ HPにて外来生物の情報発信	直方市	P.13
		・ 外来生物勉強会への参加	直方市	P.13
		・ HPにて外来生物の情報発信、セアカゴケグモの駆除(年7回)	飯塚市	P.13
		・ 外来生物の捕獲・駆除のため、罠の貸出を実施	嘉麻市	P.13
		・ 美化巡視員による不法投棄の巡視の際に分布把握・確認(週1回)	芦屋町	P.14
		・ オオキンケイギクの駆除、広報誌にて啓発	水巻町	P.14
		・ オオキンケイギクの駆除	遠賀町	P.15
		・ 中学生とのミシシippアカミガメの捕獲	遠賀町	P.15
		・ 外来生物の情報発信(HP掲載、チラシ配架等)	香春町	P.15
		・ オオキンケイギクの分布状況確認、駆除、巡視を実施	添田町	P.16
		・ オオキンケイギクの分布状況確認、駆除、巡視を実施	大任町	P.16
6	人の営みと自然が調和した 農地環境の保全・再生	・ 市内4校の小学5年生に対し、田植え体験を実施	飯塚市	P.17
		・ 小学生向けの農業体験(田植え、稲刈り)を実施	中間市	P.17-18
		・ 小学校児童による田植え、稲刈り体験	芦屋町	P.19
		・ 農業イベントを開催(年2回)	赤村	P.19

(2) R7年度のアクションプラン取組状況

NO	アクションプラン項目	取組み実施状況	取組機関	別紙資料
7	人の営みと自然が調和した 森林環境の保全・再生	・シカの生息状況調査や捕獲事業、絶滅危惧種の種子の保存を実施	福岡県 環境部 自然環境課	P.20
		・レンゲツツジの生育状況調査及び保全のための草刈りを実施 (年3回)	福岡県 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	P.20
		・生きもの(虫)を中心とした自然観察会を開催	福岡県 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	P.20
		・保安林において間伐等を実施	飯塚農林事務所	P.21
		・森林組合等林業事業体を実施する森林整備を支援	飯塚農林事務所	P.21
		・飯塚市自然体験プログラム「いいねん！」を12回開催	飯塚市	P.21
		・ため池周辺環境保全のため、広葉樹を植樹	岡垣町	P.22
		・期間を通じて、間伐、下刈、植栽を実施	添田町	P.22
		・有害鳥獣(ニホンジカ・イノシシ・アライグマ等)の捕獲を実施	添田町	P.22
		・九州シカ広域一斉捕獲を実施	添田町	P.22
8	里地・里山における水辺の ネットワーク形成	・魚類等のモニタリング調査を実施	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.23
		・目尾水辺の里の魅力を地域住民へ周知、情報発信	飯塚市	P.23
9	流域の環境を守る人材の育成	・出前講座を小学生を対象に開催	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.24
		・小学生を対象に嘉飯地区環境学習会を実施	福岡県 飯塚県土整備事務所	P.24
		・地域環境の保全取組の共有や意見交換、勉強会を実施	福岡県 宗像・遠賀保健福祉環境事務所	P.24
		・高校生による環境をテーマとした調査・研究の発表会を実施	直方市	P.25
		・幼保を対象に地球温暖化等をテーマとした出前授業を実施	直方市	P.25
		・ゴーヤの苗を配布(緑のカーテンエコプロジェクト)	飯塚市	P.26
		・市内小学生に環境啓発(冊子)副読本を配布	田川市	P.26
		・小学校にて魚道学習を実施	芦屋町	P.26
		・小学校のビオトープを活用した環境保全学習の実施	芦屋町	P.26
		・小学4年生を対象に、自然環境意識を育む学習を実施	岡垣町	P.27
		・環境学習や各種イベント等による普及啓発活動	香春町	P.27

(2) R7年度のアクションプラン取組状況

NO	アクションプラン項目	取組み実施状況	取組機関	別紙資料
10	豊かな自然と歴史・文化的資源を活かした地域振興	・ 遠賀川流域だより(自然環境、イベント情報)を発行	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.28
		・ 飯塚市自然体験プログラム「いいねん!」を12回開催	飯塚市	P.28
		・ 「遠賀川水源地ポンプ室」の世界遺産登録10周年を記念し、ポスターを配布	中間市	P.29
		・ 世界遺産&直方レトロ建築めぐりフットパスを開催	中間市	P.29
		・ 宮若市ヒガンバナまつり、ヒガンバナライトアップ	宮若市	P.30
		・ コスモスの植栽、コスモスまつり開催	水巻町	P.30
		・ 遠賀川でボート競技大会 おんがレガッタを開催	遠賀町	P.31
		・ 九州オルレ(ウォーキングイベント)を開催	香春町	P.31
		・ 大任町花公園にて季節の花を植栽	大任町	P.32
		・ 花の開花情報を町HPにて情報発信	大任町	P.32
11	流域における多様な主体の連携	・ 飯塚市内の小学校に環境学習の支援	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.33
		・ 「第22回ふくおか水もり自慢! in くるめ」を開催	福岡県 県土整備部河川整備課	P.33
		・ 環境保全活動団体交流会を開催	福岡県 宗像・遠賀保健福祉環境事務所	P.34
		・ 森林整備や森林環境教育などの活動を支援	飯塚農林事務所	P.35
		・ エコサークルおんががわサポーター登録推進を実施	直方市	P.35
		・ 遠賀川にてカヌー駅伝大会・河川清掃を実施	飯塚市	P.36
		・ ナイトリバーin飯塚を開催	飯塚市	P.36
		・ 遠賀川水辺公園にて商工会主催のしじみ祭りを開催	大任町	P.36
12	生態系に関する情報共有	・ 遠賀川流域生態系情報図(Googlemap版)を時点更新 HPにて公開	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.37

(2) R7年度のアクションプラン取組状況

NO	アクションプラン項目	取組み実施状況	取組機関	別紙資料
13	生態系に関する情報発信	・水質情報を「水文水質データベース」にて公表	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.38
		・生物情報を「河川環境データベースHP」にて公表	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.38
		・遠賀川流域生態系NW協議会資料をHPにて公表	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.38
		・流域での活動についてFMちょっくらじおにて情報発信	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.38
		・福岡県生物多様性戦略2022-2026を県HPに公開	福岡県 環境部自然環境課	P.38
		・遠賀川流域だよりを流域の各市町村窓口にて配布	遠賀川流域自治体	P.39
		・市公式SNSにて流域住民及び企業向けに河川の清掃活動等の案内を実施	直方市	P.39
		・遠賀川水系河川の水質調査を(9月、2月)に実施、HPで情報を発信	飯塚市	P.40
		・「第3次飯塚市環境基本計画」「飯塚市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」をHP等で情報発信	飯塚市	P.40
		・水巻町環境基本計画をHPにて公開	水巻町	P.40
		・温暖化防止やウミガメ産卵等に関する情報を発信	岡垣町	P.41
		・遠賀川水系の河川の水質調査を実施(年2回)	桂川町	P.41
		・第3次香春町環境基本計画を策定し、HPで公開中	香春町	P.41
14	生態系に関する普及啓発活動	・ふくおか水もり自慢！にて生態系NWの発表を行った	国土交通省 遠賀川河川事務所	P.42
		・飯塚市自然体験プログラム「いいねん！」にて生き物探しを4回開催	飯塚市	P.42
		・水生生物観察会を実施	飯塚市	P.42
		・不法投棄の巡視を実施	嘉麻市	P.43
		・小学校4年生を対象に河川や海岸の生物調査を実施	岡垣町	P.43
		・サケの稚魚放流前に清掃活動を実施	遠賀町	P.43
		・町・学校・商工会と連携して、しじみの放流を実施	大任町	P.44

(3)連携・協働アクションプラン: 具体的取組 骨子

○ 連携・協働アクションプランの具体的取組は、各テーマのこれまでの実績を踏まえた上で、短期（R4～R8）、中長期（R9～）で取組を展開していく。

■テーマにおける今後の取組(案)

テーマ	方針	短期取組	中長期取組	これまでの実績
外来生物対策	- 外来生物に関する意見照会結果より、アライグマ、スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の農業被害対策の検討 - 今後、対策する対象生物の選定、勉強会、検討会の設立、駆除ルール等の検討、駆除効果のアウトプット - 流域住民への普及啓発 - 他部署、産官学民連携	- 対象生物の選定 - 先行事例(駆除、利活用)の収集、整理 - 対象生物の勉強会による知識・意識向上 - 関係する機関による外来生物検討会設立、駆除ルール検討 - 駆除効果のアウトプット提示 - 流域住民へのメリット、普及啓発 - 他部署との連携	- 産官学民連携による外来生物駆除、モニタリング、利活用 - ジャンボタニシの例 - ペットボトルを活用したわなの作成 - モニタリング - 住民協働による駆除イベント、効果のモニタリング - 利活用 - 学校(明治学園)がジャンボタニシたい肥化、研究論文発表 - 新たな観光産業の創出 - 外来生物の食事 - 外来生物駆除ツアー	- 遠賀川一斉清掃と併せたオオキンケイギク駆除 - 外来生物勉強会の開催、Youtubeアーカイブ - 遠賀川の特定外来生物<オオクチバス編> - 遠賀川の外来生物について(R5.1.30) - 特定外来生物オオキンケイギク(R5.5.17) - 特定外来生物スクミリンゴガイ勉強会(R6.10.16) - H27～R6オオキンケイギク駆除状況マップ - 特定外来生物スクミリンゴガイ勉強会(R7.5.20) - 特定外来生物勉強会(R8.5.22) - 外来生物に関する意見照会(被害状況、対策ニーズ)

(3)連携・協働アクションプラン: 具体的取組 骨子

■テーマにおける今後の取組(案)

テーマ	方針	短期取組	中長期取組	これまでの実績
自然環境	- 他部局(農水、観光)の施策に組み込む - 既存イベントへの支援(場所の提供、イベント参加の声掛け等) - 歴史・文化・自然環境散策ルート - エコネットの点から面へ(新規候補地)	- ブランド農作物について、他部局(農水・観光・商工)の施策で組み込めるものはないか意見交換 - 環境に優しい農作物の紹介、イベント支援(河川敷、道の駅、筑豊フェア等) - 遠賀川生物図鑑 - フットパス等の情報収集、河川敷散歩ルートの設定 - エコネット新規箇所への展開(新規整備、環境学習(遠賀川生き物図鑑作成等)としての利活用)	- 環境にやさしい農作物の生産等の支援 - 環境にやさしい農作物のブランド化の支援 - 歴史・文化・自然環境散策ルート(河川散歩図鑑一中間市フットパスとのコラボ等) - エコネット地区の利活用(環境学習、農業体験、エコツアー等)	- 環境にやさしい農作物の事例収集(源流の森メンマづくり) - 筑豊フェア(R4.9.23)開催 - エコネット事業による整備、利活用(トヨタ自動車九州環境学習R7.7.20) - 遠賀川源流の森づくり(下草刈りR7.7.27)
社会環境	- 生態系情報図の活用、SNSで発信できるもの - 講師の派遣(外来生物勉強会:福岡県自然環境課、保健環境研究所)	- SNSを利用した情報発信事例収集整理、仕組みづくり - 既存イベントにおける情報発信、普及啓発 - ロゴマーク検討 - 各勉強会の内容はYoutubeにてアーカイブ化、普及啓発 - WEBアンケートによる実態把握、普及啓発活動	- 多様な主体の連携のための基本ツールの作成と活用(エコサークルおんががわ)地域住民・地元企業との連携 - 多様な主体が活動しやすい仕組みづくり(エコサークルおんががわ) - 活動団体の活動情報共有システムの構築	- ふくおか水もり自慢!(R8.3.15)で生態系NWの取組を口頭発表による普及啓発 - エコスタいいづか(R5.2.11)で生態系NW、エコロジカルネットワーク、目尾水辺の里の活動をブース出展、パネル展示により普及啓発 - 外来生物勉強会の内容をYoutubeにてアーカイブ化 - エコサークルおんががわ発足(R6.11)

(3) 連携・協働アクションプラン: 外来生物対策

○ 各機関においてオオキンケイギク等外来生物の生態、駆除方法等について普及啓発、駆除を行っている。

外来生物名	項目	内容	取組機関
オオキンケイギク	普及啓発	外来種防除リーフレットをHPに公開	福岡県環境部自然環境課
		オオキンケイギク等の駆除等についてHPに掲載	福岡県環境部自然環境課
	駆除	河川工事、維持管理時に駆除	国土交通省遠賀川河川事務所
		オオキンケイギクを駆除	嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所
		オオキンケイギクを駆除	遠賀町
		定期的にオオキンケイギクの分布状況の確認・駆除	添田町
		不法投棄等職員の巡視によりオオキンケイギク等外来生物分布状況の把握や駆除	大任町
		美化巡視員によるオオキンケイギク等の把握・駆除	芦屋町
		宮田工場周辺でオオキンケイギク駆除を行った	トヨタ自動車九州(株)
アライグマ	駆除	福岡県アライグマ防除実施計画に基づきアライグマの防除を実施	福岡県環境部自然環境課
		外来生物(アライグマ等)捕獲・駆除のため、市民に罠を貸し出し	嘉麻市
その他外来生物	普及啓発	外来生物(セアカゴケグモ、ツマアカスズメバチ)についてHPで情報発信	直方市
		HPにて外来生物の情報発信、セアカゴケグモの駆除(年7回)	飯塚市
		外来生物の情報発信(HP掲載、チラシ配架等)	香春町
	駆除	中学生と外来生物ミシシッピアカミミガメの捕獲	遠賀町

(3) 連携・協働アクションプラン: 外来生物対策(R8取組速報)

- 令和8年5月22日、NP0団体、企業及び行政機関を対象に、オオキンケイギクの生態や駆除方法、ならびに新たな脅威であるナガエツルノゲイトウに関する勉強会を実施し、遠賀川一斉清掃と連携した駆除の促進を図った。

遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

外来生物勉強会

～オオキンケイギクの駆除について～

オオキンケイギクの駆除について



大塚川のオオキンケイギク (R7.5)



外来生物勉強会の様子 (R7.5)

日程：令和8年5月22日(金)

時間：14:00～15:00

会場：遠賀川地域防災施設

「遠賀川水辺館」2F会議室

〔住所〕直方市溝堀1丁目1-1

問い合わせ：エコサークルおんががわ事務局

akatsuka@kensetsukankyo.co.jp

※対面での出席を基本としますが、
WEB会議を併用します。

お申込みはコチラ⇒Microsoft Forms

<https://forms.office.com/r/sdnGHBGnzz>



外来生物勉強会の様子(R8.5.22)

(3) 連携・協働アクションプラン: 自然環境 エコロジカルネットワーク再生

○ 遠賀川エコロジカルネットワーク再生事業（河川と水田水路の連続性確保）箇所において環境学習を実施。



エコネット改良箇所環境学習

令和7年5月25日

金生地区において農業従事者と清掃活動後、環境学習会を実施した。

トヨタ自動車九州環境学習

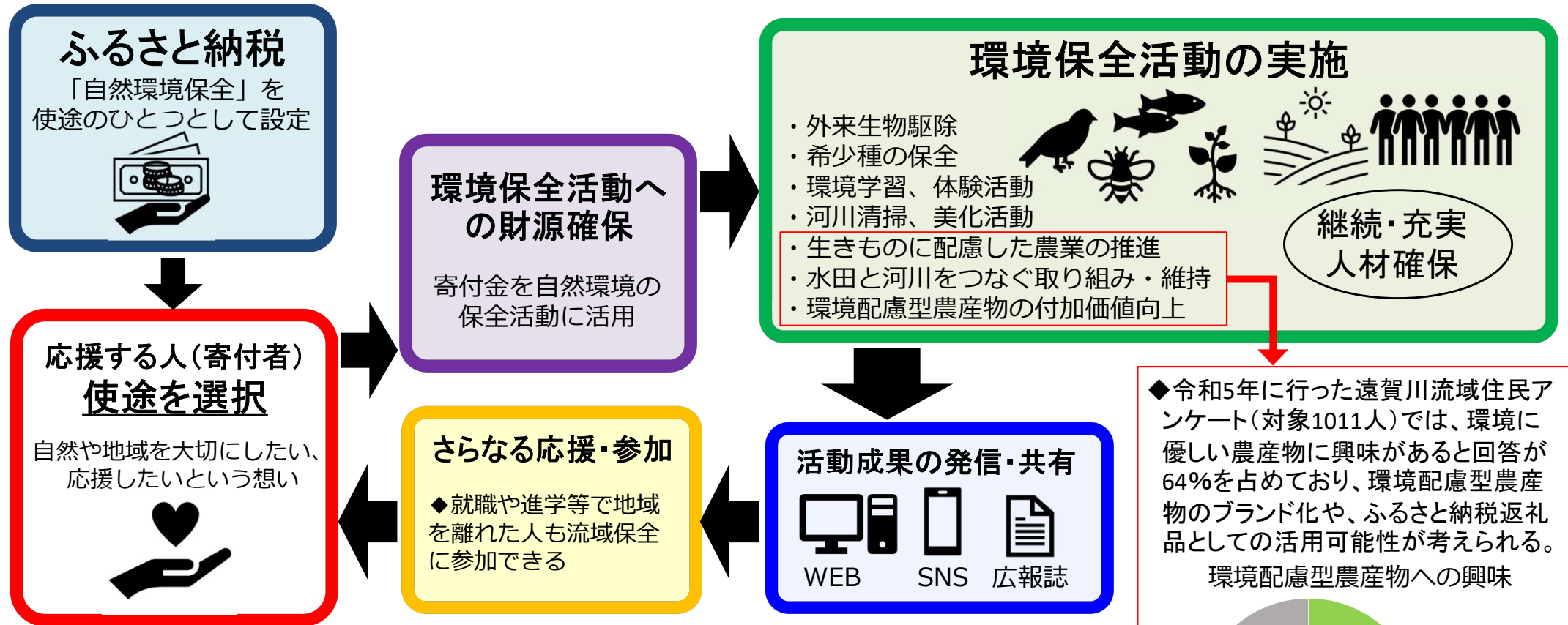
令和7年7月20日

金生地区においてトヨタ自動車九州主催の環境学習を実施した。



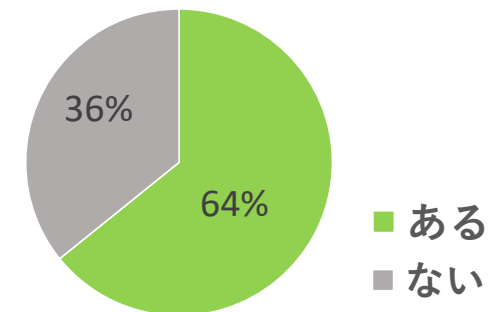
(3) 連携・協働アクションプラン: 自然環境 ふるさと納税の活用

○ ふるさと納税を活用して自然環境保全への支援を広げることで、生態系ネットワークの形成や環境配慮型農業の価値向上につなげ、流域全体の地域活性化へと広がる好循環の形成が期待される。



◆令和5年に行った遠賀川流域住民アンケート(対象1011人)では、環境に優しい農産物に興味があると回答が64%を占めており、環境配慮型農産物のブランド化や、ふるさと納税返礼品としての活用可能性が考えられる。

環境配慮型農産物への興味



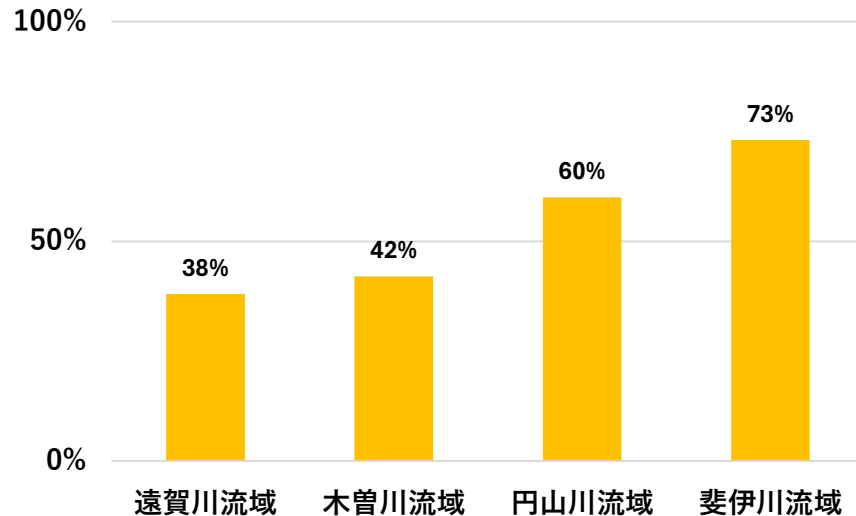
好循環の形成により
期待される効果

- ・ 生物多様性の保全
- ・ こどもたちへの豊かな自然の継承
- ・ 持続可能な農業、地域産業の発展

(3) 連携・協働アクションプラン: 自然環境 ふるさと納税の活用

- 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会をはじめとした流域連携の取り組みの継続により、自然環境保全に関する意識共有や施策展開が進みつつある。
- 今後も、自治体、企業、NPO団体、地域住民といった多様な主体が連携しながら、自然環境保全活動を地域価値の向上や流域全体の活性化につなげる仕組みづくりが期待される。

生態系ネットワークに係る協議会設立地域における ふるさと納税の使い道に「自然保護」を選択できる自治体数の割合を調査※



遠賀川流域形成推進協議会 (H30.8～)

木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会 (H27.1～)

円山川流域 コウノトリ野生復帰推進連絡協議会 (H15.7～)

斐伊川水系生態系ネットワークによる大型鳥類と共に生きる
流域づくり検討協議会 (H27.4～)

※ふるさと納税WEBサイト「ふるさとチョイス」寄付金の使い道検索「自然保護」(R8.6.2)

生態系ネットワーク協議会設立地域の事例を比較すると、自然保護をふるさと納税の使途として設定している自治体の割合は、木曽川流域(岐阜県、愛知県)で42%、円山川流域(兵庫県)で60%、斐伊川流域(島根県、鳥取県)で73%であった。一方、遠賀川流域は38%であり、他流域の事例を参考に、遠賀川流域においても、ふるさと納税を活用した自然環境保全の取組を検討していくことが期待される。

(3) 連携・協働アクションプラン: 自然環境 ふるさと納税の活用

総務省 ふるさと納税の活用事例 環境

ふるさと納税では返礼品に加え、寄付金の使途への共感を重視する寄付者も存在しており、イメージしやすい使い道を明示することは地域の取組への応援獲得につながる可能性がある。

現在、使い道に「環境関連事業」を選択できる 遠賀川流域の自治体

自治体	使い道	掲載内容
直方市	豊かな自然との共生プロジェクト	自然を活かしたまちづくり、地球温暖化の防止やCo2排出削減
北九州市	環境施策の推進事業	市民、企業、行政などが協働して、環境を良くし経済活性化、快適に住み続けられるまちづくり
宮若市	みどりが輝くふるさとづくりに関する事業	自然環境と地域景観の保全
田川市	都市づくりに関すること	環境保全、環境美化、緑化推進
岡垣町	ふるさととの自然環境の保全・生活環境の充実事業	『白砂青松の三里松原』や『響灘に面した海岸』、『きれいな川の象徴のホテル』、『アカウミガメも帰る海岸線』、『豊富な地下水をつくる孔大寺山系の山々』など、自然環境を保全する事業に使用する
水巻町	町の自然と環境を保全する事業	河川環境や景観の保全
赤村	今川流域の緑化保全推進事業	有機農業の担い手確保や新規就農者支援などに活用
芦屋町	自然環境の保全及び生活環境の充実	松林の保全、響灘に面する海岸など美しい環境を保全する
田川市	都市づくりに関すること	環境保全、環境美化、緑化推進

環境

▶愛知県尾張旭市

貴重な湿地と生態系保全への取組

吉賀池湿地は、尾張旭市北部の瀬池近くに位置する多様な植物が生育する湿地で、市の指定文化財（天然記念物）に指定されています。数多くの季節の花や、絶滅危惧種のサギソウ等の貴重な湿地植物やハッチョウトンボ等の生物が見られ、一般公開の際には、市内・市外から多くの方が訪れます。

しかし、吉賀池湿地の散策路として整備された木道は設置から20年以上経過し、老朽化による劣化や損傷が著しくなってきたことから、より安全・快適に見学ができるよう、ふるさと納税を活用して、木道の再整備をすることとしました。再整備に伴い、道幅が狭かった箇所に設置する待避所には、ふるさと納税によって設置されたことを表示し、訪れた方に対し制度周知を図ります。また、市のウェブサイトにて、使い途別の寄附の状況を報告しています。

秋の一般公開の様子。木道からシラタマホシクサを撮影している参加者

絶滅危惧種のサギソウが数多く咲いている様子

注力した工夫した

寄附者がふるさと納税の使い道を選ぶことを重視しており、14の使い道を選択可能としています。また、使い道をイメージしやすいように、具体的な事業内容や事業に必要な金額を表示しています。

Check 取組の効果

ふるさと納税の使い道を明確化し、寄附者の共感を集めていることについて報道機関等に大きく取り上げられ、平成28年度は前年度の約11倍のふるさと納税をいただきました。また、吉賀池湿地の一般公開には、取組以前に比べ、県外からの参加者が増えています。

また、ふるさと納税を通じて、全国に情報発信することができ、団体見学の希望や大学の視察など、吉賀池湿地に対する関心が高まっていることから、今後、交流人口の増加や尾張旭市のPR効果が期待されます。

見学者へ湿地の説明をしている様子

整備される以前の木道

寄附者の声

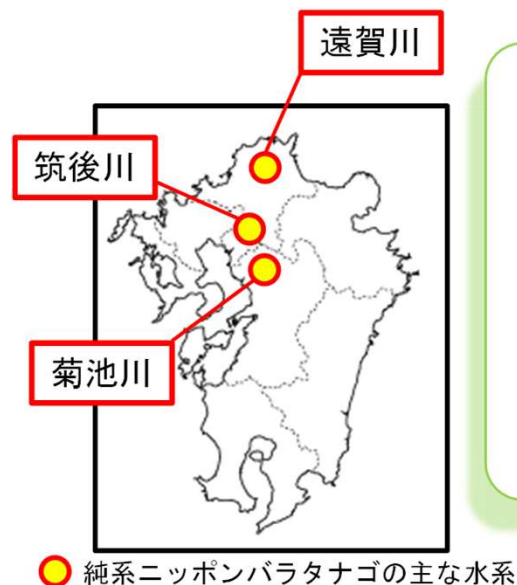
- ・共感した事業の実現により、尾張旭市のまちづくりの一助となれたことを嬉しく感じるとともに、身近に感じることができました。

住民の声

- ・木道が再整備され、参加者が快適に見学できており、安心して湿地の説明ができます。(案内ボランティア)

(3) 連携・協働アクションプラン: 自然環境 遠賀川ニッポンバラタナゴ保全事業

- 本取組は、ニッポンバラタナゴ純系個体群の保全に加え、ため池や水路など地域資源の有効活用、環境学習の推進、地域住民の自然環境への関心向上につながることを期待される。
- 産官学民が連携して取り組むことで、モデル事例として流域全体への展開も見込まれる。



環境省及び福岡県のレッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類に指定されています。

日本固有亜種ニッポンバラタナゴは、近縁外来亜種タイリクバラタナゴとの交雑により、純系個体群の減少が著しく、現在では関西、四国、九州北部の一部にのみ純系個体群の生息が確認されている。

遠賀川水系では、純系個体群が経年的に確認されているが、一部でタイリクバラタナゴとの交雑個体も確認され、交雑の進行により純系個体群の減少・消失が懸念されている。

今後のニッポンバラタナゴ純系個体群の維持保全のために、産官学民(大学・企業・住民団体、行政等)が連携して流域のため池等を活用した生息域外保全を検討・試行を行いたい。

ため池を活用した保全活動連携

環境教育活動

環境保全型農業と価値創生

自然と共生のまちづくり

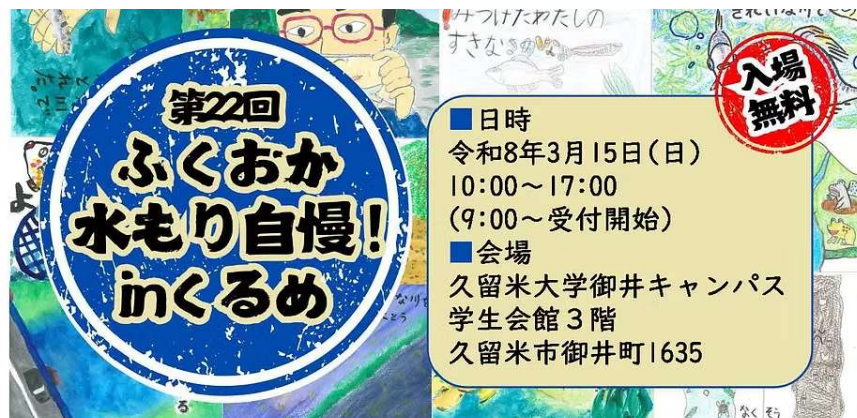
ため池や水路を活用した希少種保全のモデル地区を募集します



(3)連携・協働アクションプラン:社会環境 ふくおか水もり自慢

○ ふくおか水もり自慢において遠賀川流域生態系ネットワークの取組について発表。

◆前回令和7年度の福岡大会配布チラシ



ふくおか水もり自慢!は、福岡県内の「水」・「もり(森)」など水環境に関わる活動をしている団体が一堂に会し、交流するワークショップです。このワークショップは、団体間の交流や行政と市民団体のパートナーシップを促進し、福岡県の豊かな自然と人間が共存していくために必要な対策や取組を一緒に考えていくことを目的としています。

当日は、多くの団体の皆さまの発表を予定しております。皆さまの来場を心よりお待ちしております。

タイムテーブル

09:00 受付開始
10:00 開会式
10:10 基調講演①
金沢大学講師 坂本 貴啓先生
10:40 基調講演②
九州産業大学教授 山下 三平先生
11:10 気候変動への適応に関する事例紹介
11:40 休憩・昼食交流会
古賀河川文庫の見学
※今回、交流会は昼食時に実施します
※河川文庫見学は事前予約制です
参加希望の方は、下記の問合せ先にて
事前予約をお願いします
13:00 河川絵画コンクール表彰式
13:20 活動発表会
14:55 休憩
15:10 活動発表会
16:50 閉会式
17:00 終了
※終了後、雨水貯留施設を
兼ねた学内のグラウンドを見学します

基調講演 10:10-11:10

基調講演①

金沢大学 坂本 貴啓先生
「全国各地の地域版 川のワークショップの特色と
ふくおか水もり自慢!の意義」
～これからの官民連携の流域管理に向けて～

基調講演②

九州産業大学 山下 三平先生
「Smart School=新宮北小学校の雨水活用の計画と
実績」

事例紹介 11:10-11:40

事例紹介①

NPO法人福岡災害レジリエンス研究室 代表 平川 文氏
「市民ネットワークによる被災者支援の連携強化」

事例紹介②

Bottled Local 代表 高橋 米彦氏
「高良山の竹林整備の副産物を活用したクラフトジンの開発」

事例紹介③

朝倉県土整備事務所 河川砂防課
「桂川の環境復元に向けた取り組み」

活動発表会 13:20-16:45

発表団体39団体(予定)、発表時間各3分

主催:第22回ふくおか水もり自慢! inくるめ 実行委員会(事務局NPO法人筑後川流域連携倶楽部)
後援:(各機関へ申請中です)

お問合せ先/大会事務局 ■電話:0942-45-5042(川嶋)

■メール:npo.chikugoriv@gmail.com

※当日の状況を写真撮影させていただき、県の広報活動に使用させていただく場合がございます。ご了承ください。

発表団体 遠賀川河川事務所

遠賀川流域
生態系ネットワーク
連携・協働の取組について

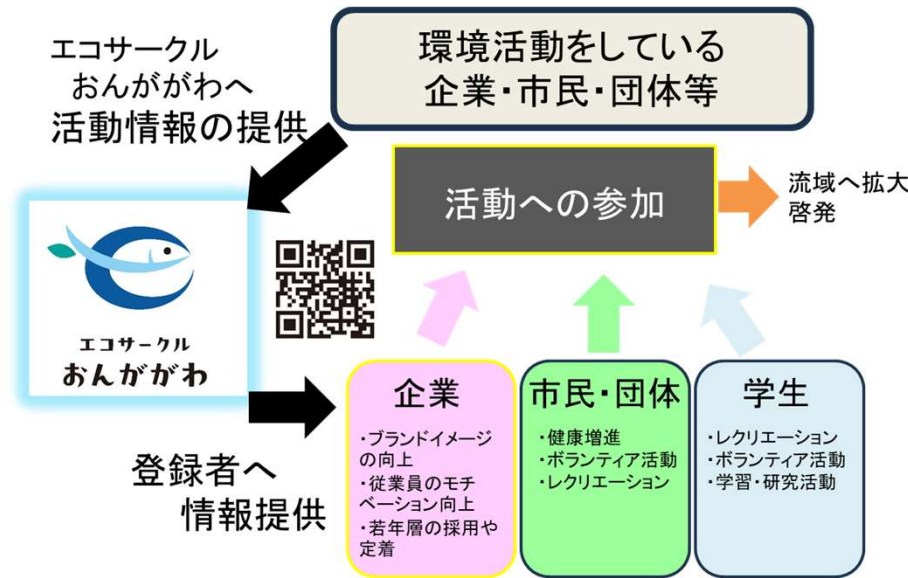
遠賀川流域生態系
ネットワーク形成推進協議会作業部会



遠賀川生態系ネットワーク形成推進協議会の取り組みについて紹介する様子

(3) 連携・協働アクションプラン: 社会環境 エコサークルおんががわ

- 環境保全・再生には、遠賀川流域一体となって対応していく必要がある。
- 令和6年11月に環境サポーター制度「エコサークルおんががわ」を創設し、流域の皆様が活動しやすく、その活動が流域に広がる取組を行っている。



活動報告の例(広報活動) R7.8.20



活動予定の例



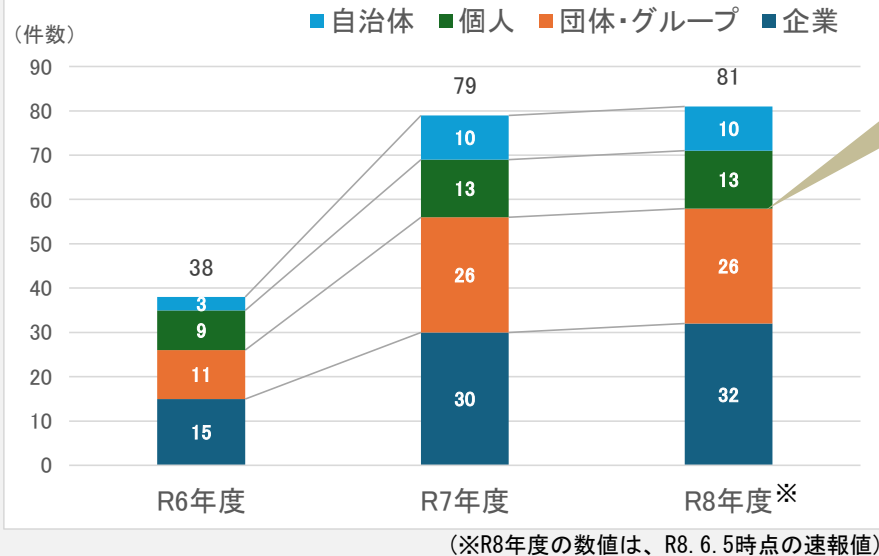
活動報告の例



FMちよっくらじおの出演様子

(3) 連携・協働アクションプラン: 社会環境 エコサークルおんががわ

- 「エコサークルおんががわ」には現在、68の自治体、個人、団体・グループ、企業が登録している。



発足初年度である令和6年度と比較すると、企業、団体・グループ(学生を含む)、自治体の登録数はいずれも 2倍以上 に増加した。

流域全体における活動意欲の高まりが示唆される。



ボランティアの証明書の発行

清掃活動



団体の参加(NPO)

春の遠賀川一斉清掃(直方市)



個人の参加

源流の森づくり下草刈



海岸清掃

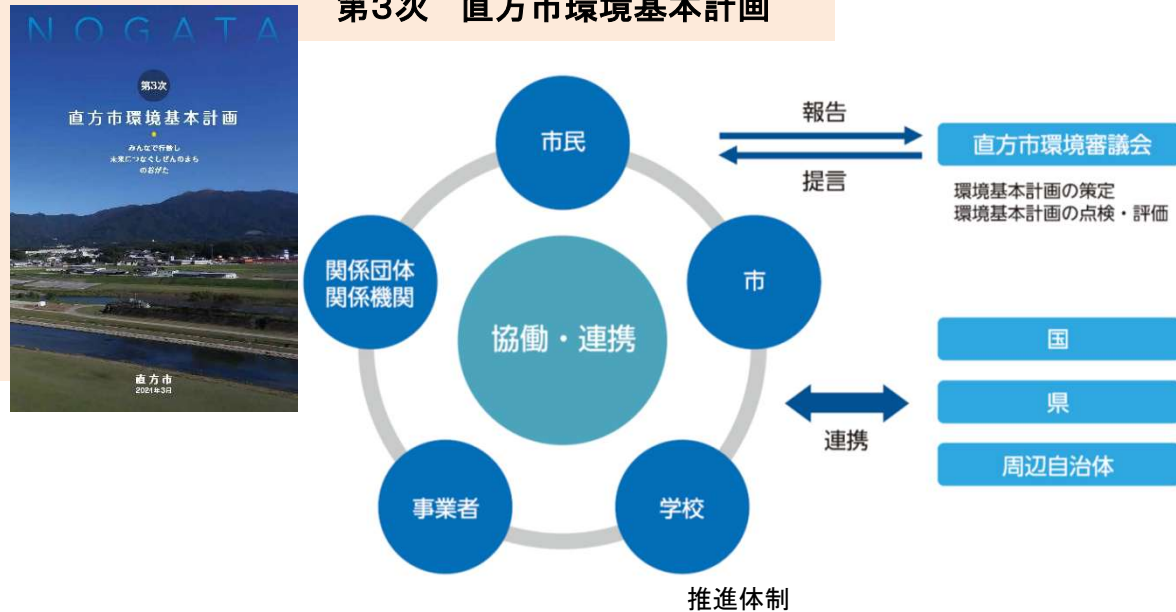


企業の参加

(3) 連携・協働アクションプラン: 社会環境 エコサークルおんががわ

- 直方市では環境基本計画にある、活動主体の多様化の促進「2. 市民、学校、企業などの交流促進」に、エコサークルおんががわを活用。
- 春の遠賀川一斉清掃で事業者へサポーター登録推進を実施。

第3次 直方市環境基本計画



出典 直方市環境基本計画

https://www.city.nougata.fukuoka.jp/shisei/_1235/_2558/_14106.html

ボランティア活動参加証明書について

企業等でボランティア活動参加証明書の発行を希望される方は、国土交通省遠賀川河川事務所の「[エコサークルおんががわ](#)」のサポーター登録※1が必要となります。

※1エコサークルおんががわサポーター制度の詳細や登録方法等については下記ホームページをご確認ください。

[エコサークルおんががわHP \(外部リンク\)](#)

学生や企業など多様な主体の登録により、遠賀川流域内で実施されている環境保全活動や地域活動の情報共有が促進され、主体間の相互理解や連携のきっかけづくりにつながっている。

春の遠賀川一斉清掃でのサポーター登録推進(直方市HPより)



春の遠賀川一斉清掃に集まった人々の様子(直方市)

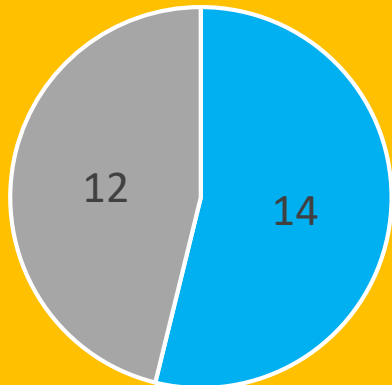


サポーター登録制度に興味を持つ人々の様子

(3) 連携・協働アクションプラン: 社会環境 エコサークルおんががわ

- これまでの企業による活動報告数は計26件である。報告内容の内訳として、清掃活動が19件で全体の約7割を占めている。
- ボランティア証明書の発行数は計25件であった。活動実績を客観的に示す資料として活用され、企業の継続的な活動参加を後押しする役割を果たしていることが考えられる。

企業による活動報告数

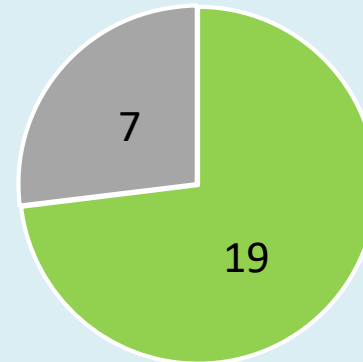


■ 公開 ■ 非公開

(※R6. 9～R8. 6の報告分)

報告件数26件のうち約半数がウェブサイトでの公開を希望しており、企業には地域貢献活動を積極的に発信したいニーズが一定程度みられる。そのため、活動事例の継続的な発信や紹介機会の充実を図ることで、さらなる活動報告の促進が期待される。

企業による活動報告の内訳

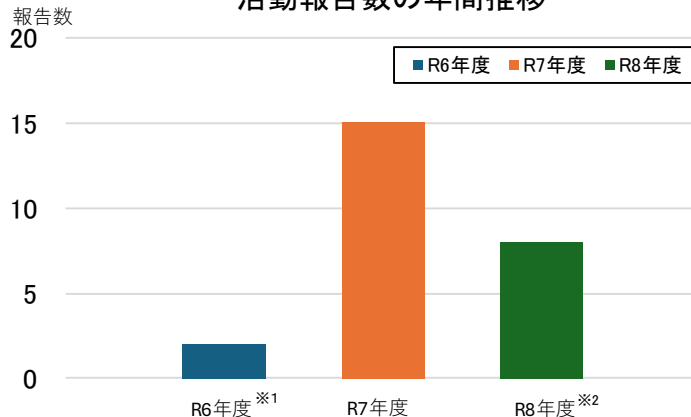


■ 清掃活動 ■ その他

【その他】
草刈、植樹、鮭の放流会、カヌー体験、職場体験、ワークショップ

活動内容は清掃活動が約7割を占めており、企業にとって参加しやすい環境保全活動へのニーズが高いことが示されている。そのため、参加しやすい活動機会を創出し、環境保全活動への参画の裾野を広げていくことが期待される。

活動報告数の年間推移



※1: R6年度は、11月～3月の期間

※2: R8年度は、R8.6.11時点の速報値

企業による活動報告内容

【清掃活動】

- ・I LOVE 遠賀川
- ・芦屋海岸クリーンキャンペーン
- ・穂波川をきれいにしよう
- ・春の遠賀川一斉清掃
- ・秋の遠賀川一斉清掃
- ・彦山川をきれいにしよう

【その他】

- ・遠賀川源流の森づくり下草刈
- ・遠賀川源流の森づくり「植樹」
- ・遠賀川みらい会議
- ・九州川のワークショップ
- ・鮭の稚魚一斉放流会

企業による活動報告数は増加傾向にあり、エコサークルおんががわを通じた活動情報の共有が浸透しつつあることがうかがえる。

今後は、企業が参加しやすい時期や活動内容を踏まえながら、活動機会の創出や情報発信を行うことで、さらなる参加促進が期待される。

(3) 連携・協働アクションプラン: 社会環境 エコサークルおんががわ

○ R8年度以降、各関係機関のアクションプラン取組状況の報告は、「エコサークルおんががわ」の枠組みの中で実施していくため引き続きご協力をお願いしたい。

各関係機関

サポーター登録後、
エコサークルおんががわへ
取組状況を報告



とりまとめ

作業部会・協議会

ホームページ

URL <http://www.ongaeeco.org>



サポーター参加登録方法

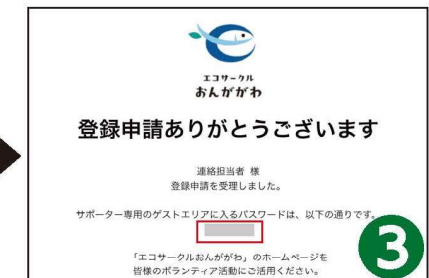
トップページの「登録申請する」ボタンをクリックしてください。

登録フォームが開きますので、必要事項を入力して「送信」ボタンをクリックしてください。

遠賀川流域環境サポーターへの登録は簡単。

「エコサークルおんががわ」のホームページからご登録ください。

登録したメールアドレス宛に、自動返信メールが届きます。届かない場合は迷惑メールフォルダを確認し、そこにも届いていなければ再申請するかトップページ最下部の「お問合せ」からご連絡ください。



サポーター専用の「ゲストエリア」を開きます。トップ画面の「ゲストエリア (サポーター専用)」をクリックしてください。

自動返信メールに「ゲストエリア」用のパスワードが記載されていますので、入力しログインしてください。

「ゲストエリア」から活動予定の登録や活動記録の報告、ボランティア証明書の申請、公式ロゴマークのダウンロードなどが行えます。



(4)アクションプラン取組の点検・評価について

■今後の予定

○ 令和9年度は短期(R4～R8)の具体的取組について、点検・評価を行う。その結果をふまえ、取り組み内容について見直しを行う。

テーマ	短期取組(R4～R8)
外来生物対策	・対象生物の選定 ・先行事例(駆除、利活用)の収集、整理 ・対象生物の勉強会による知識・意識向上 ・関係する機関による外来生物検討会設立、駆除ルール検討 ・駆除効果のアウトプット提示 ・流域住民へのメリット、普及啓発 ・他部署との連携
自然環境	・ブランド農作物について、他部局(農水・観光・商工)の施策で組み込めるものはないか意見交換 ・環境に優しい農作物の紹介、イベント支援(河川敷、道の駅、筑豊フェア等) ・遠賀川生物図鑑 ・フットパス等の情報収集、河川敷散歩ルートの設定 ・エコネット新規箇所への展開、環境学習(遠賀川生き物図鑑作成等)としての利活用
社会環境	・SNSを利用した情報発信事例収集整理、仕組みづくり ・既存イベントにおける情報発信、普及啓発 ・ロゴマーク検討 ・各勉強会の内容はYoutubeにてアーカイブ化、普及啓発 ・WEBアンケートによる実態把握、普及啓発活動

(4)アクションプラン取組の点検・評価について

- 令和3年、令和5年に住民アンケートを行っている。地域住民が考える遠賀川の自然環境価値を把握でき、具体的取組みへの点検・評価の補足資料として令和8年度も実施する。

WEBアンケート調査設問例

Q4 生態系と聞いて具体的にどのようなことを思い浮かべますか？(複数回答可)

- ① 動植物の生息環境
- ② 外来生物
- ③ 食物連鎖(動植物間のつながり)
- ④ 人の営みとの調和(里地・里山等)
- ⑤ 生物多様性(多くの動植物が生きている)
- ⑥ 環境教育
- ⑦ 特になし
- ⑧ その他()



アクションプランに関する設問
約10問程度
遠賀川流域住民約1000人を対象

- ◆アンケートから読み取れること
- ・生態系に対する理解の内容・広がり
 - ・「生物多様性」「外来種」等の認知度
 - ・施策認知率(施策の浸透度)
 - ・潜在的関心(ニーズの大きさ)
 - ・分野別の関心の偏り



具体的取組の改定(R9)

これまでのアクションプランの実績や
社会的背景をふまえ
連携・協働アクションプランの
具体的取組の見直し・検討

(4)アクションプラン取組の点検・評価について

○第13回作業部会において関係機関からアンケートに関する意見を聴取し、その意見を踏まえて設問内容を見直し、令和8年度アンケートを実施する。

WEBアンケート調査での設問内容

設問内容		わかること
Q1	遠賀川（本川および支川）は年間どれぐらいの頻度で利用していますか？	◆河川利用のアクティブ層／非利用層の割合 河川をよく利用する人と利用しない人の比較（高頻度・低頻度） 利用頻度と環境意識（Q3・Q7）との相関 利用頻度と参加意向（Q7）の関係
Q2	遠賀川（本川および支川）はどのような目的で利用しますか？	◆河川の主な利用価値（レジャー／散歩／学習など） 利用タイプ別の利用者像の把握 利用目的と重視環境（Q3）の関係 利用目的とアクションプラン関心（Q7）の関係
Q3	遠賀川（本川および支川）のどのような河川環境が良いと感じていますか？	◆住民が重視する環境要素（治水・水質・自然・景観） 環境価値の優先順位（安全 vs 生態系など） 利用頻度（Q1）との価値観の違い（「住民の河川観」の把握） 施策の評価軸（どこを改善すべきか）
Q4	生態系と聞いて具体的にどのようなことを思い浮かべますか？	◆生態系に対する理解の内容・広がり 「生物多様性」「外来種」等の認知度 生態系に関する理解度の違い 理解度と活動参加意向（Q7）との関係
Q5	遠賀川流域生態系ネットワーク形成のホームページを閲覧したことはありますか？	◆施策認知率（政策の浸透度） 認知と参加経験（Q7）の関係 認知と参加意向（Q7）の関係 広報不足の有無の評価
Q6	遠賀川流域生態系ネットワーク形成で掲げているアクションプランを知っていますか？	
Q7	遠賀川流域のアクションプランについて、どの活動に興味がありますか？	
Q8	遠賀川流域のアクションプランについて、どの活動に参加したことがありますか？	

※令和5年度では、この他にも「環境に配慮した農産物への興味」や「遠賀川流域イベントの参加経験の有無」について設問を追加し、流域住民の意識を調査している。